

第34回マリンボールカップ女子 Aゾーン決勝 8月4日(日)

柿生フリースミニバスケットボールクラブ (川崎) 62 vs 33 ラビッツミニバスケットボールクラブ (横浜北部)



- 1Q #18の安定したジャンプシュートで良いスタートをきった柿生。それに対し、ラビッツもパスでテンポ良くつなぎ、#8のゴール下シュートで反撃。又、#4を中心にドリブルで運ぶが、柿生のプレスにかかり、ターンオーバーが続く。柿生は残り3分のところで4ファールとなるが、ディフェンスの勢いは止まらない。相手のミスを誘い、積極的にゴールへ向かう。12-10、柿生リードで1Q終了。
- 2Q 開始早々、#13のロングシュート、#14のパスカットからのレイアップなどで、10点連続得点。柿生が波を作った。残り3分のところで、ラビッツタイムアウト。その後、#12の的確なアシストから、#14がゴール下シュートを決め、ナイスプレーを見せたラビッツだが、柿生の激しいディフェンスに終始苦しめられる。柿生はレイアップシュートでの確実なシュートを重ね34-14と、大きくリードを広げた。
- 3Q #13のロングシュートがあたり、好調の出だしの柿生。対するラビッツも、スペースがある右サイドから攻め、#4のゴール下シュートが決まる。その流れに乗って、強い攻め気で1対1をしかけるが、シュートまで行くも攻めきれない。その後、柿生の勢いは止まらず、#13のロング、#14の速攻でシュートを決める。48-20で柿生のリードは変わらない。
- 4Q #12のパスカットからのシュートで勢いに乗ったラビッツは、積極的なディフェンスで柿生のミスを誘う。残り3分15秒で柿生がタイムアウトを取り、選手交代。その後もラビッツの激しいディフェンスが続く。#7のバスケットカウント、#4のゴール下シュートと最後まで粘りを見せたが、点差を縮めることは出来ず、62-33で柿生の勝利となった。